

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれるまち

基本施策：08 安心して暮らせる社会保険制度の維持

主管課長職・氏名	保険年金課長 熊谷 明美
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	幸福を実感するための要素として、市民は「健康」や「所得・収入」などを挙げています。病気やケガで治療が必要なときに安心して医療を受けることができ、国民健康保険の特定健康診査や若年者健康診査を受診することで自分自身の健康づくりについて考え、また、老後や方が一の場合に年金という経済的基盤が確保できるようにすることで、市民一人ひとりが安心して健康に暮らせる社会保険制度の維持を目指します。						
--	---	--	--	--	--	--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	58.4	59	60	61	62	62	D
			60.7	59.6	63.5	56.8	56.8	△44.4
2	幸福 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77.5	79	80	80	C
			69.1	68.1	71.2	75	75	7.4
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 02080100 安定した医療制度の運営と実施 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	58.4	59	60	61	62	62	D
			60.7	59.6	63.5	56.8	56.8	△44.4
2	暮らし 02080200 安心して医療を受けるための助成 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	58.4	59	60	61	62	62	D
			60.7	59.6	63.5	56.8	56.8	△44.4
3	暮らし 02080300 生活を支える年金の受給権確保の支援 老後が不安なく暮らせると思っている人の割合 単位 %	21	15.4	15.6	15.8	21	21	D
			23.5	29.3	20.4	34.6	34.6	0.0
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれるまち

基本施策：08 安心して暮らせる社会保険制度の維持

主管課長職・氏名	保険年金課長 熊谷 明美
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> 自分の健康状態を把握し、健康づくりに取り組むための国民健康保険特定健康診査や若年者健康診査について、勧奨通知を送付し受診率の向上に努めました。 各種医療費給付事業の受給者に対し、現物給付や償還払いにより所定の医療費給付を行うことで、対象世帯の経済的な負担を軽減することができました。また、子ども医療費給付事業については、対象者の拡充の検討を進めました。 老後や死亡、障害などの方が一の場合に年金という経済的基盤が確保されることは、市民が幸福を実感するための重要な要素であることから、広報たきざわを活用して、国民年金被保険者に対し、各種届出や給付の相談について、啓発を行いました。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会保険制度の法改正・制度改正に適切に対応、円滑に実施するとともに、市民に対して制度周知を図ります。 国民健康保険特定健康診査等を通じて、市民一人ひとりの健康づくりを支援します。 <p>【重点課題に対応した達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会保険制度の法改正・制度改正に基づき、各種制度の適正な運営に努めました。 国民健康保険特定健康診査等の実施により、健康づくりの支援を行い、医療費の適正化に努めました。 	

3. 基本施策の実現に向けての令和 4年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行し市民活動の活発化が予想されることから、それぞれ歳入、歳出への影響を正確に捉える必要があります。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必須であることから、見直しの必要はありません。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>市民の生涯を通じた安心した暮らしの継続のため、保険、年金、医療の各制度の適正な運営に努めます。</p> <p>【引継ぎ課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険特定健康診査や若年者健康診査の受診率向上に向けて、取組の強化が必要です。 国民健康保険事業財政調整基金の取り崩し状況を見ながら、国保税率について検討が必要です。 子ども医療費給付事業は、子育て支援の観点から全国的に拡大する傾向がありますので、他の子育て支援事業と財政状況を見据えながら、総合的な検討が必要です。 	

